

平成18年度 第4回松山地域協議会会議録(概要)

日時 平成18年10月27日(金) 9:30~12:37

会場 松嶺公民館

出席者

1号委員 菅原 功 富樫 茂 阿部 茂 寒河江 久也 今田 充代  
2号委員 山中 俊 土田 迪子  
3号委員 遠田 聡 佐藤 洋子 木村 美津枝

欠席者

1号委員 小田 和夫 齋藤 尚 佐藤 ゆき子 須田 良  
2号委員 齊藤 薫

松山総合支所 支所長 平向 與志雄 地域振興課長 新館 篤  
市民福祉課長 太田 豊 建設課長 川田 進  
産業課長 難波 富也 教育振興室長 須貝 彰  
地域振興課 課長補佐兼地域振興係長 阿部 みえ  
主事 佐藤 伸 主事 後藤 佳

傍聴人 なし

議事日程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
  - ・平成19年度地域づくり予算要求について
- 4 議長及び議事録署名委員選出
- 5 意見交換
  - (1) 歴史公園・保育所整備(統合)・眺海の森の整備について
  - (2) 乳幼児健診事業と予防接種事業について
  - (3) 市議会地域振興・農業政策促進特別委員会委員との意見交換について
  - (4) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

1 開会・・・進行を務める地域振興課長が開会する。

2 あいさつ

(山中会長)

朝からの会議ですが、お忙しいところ出席いただき感謝している。

今回は、第3回目の地域協議会の議題について協議できなかった部分について協議を行っていきたい。第4回の地域協議会ということで、この会の発足当初に予定された開催回数を上回り、皆様には大変ご苦勞をお掛けすることになるが、よろしくお願ひしたい。

(支所長)

現在、来年度の予算要求に向けて作業を進めているところである。最終的には、1月まで支所における考え方をまとめていく。今日は、地域づくり予算について、事務方で考えたものについて、いろいろな立場の皆さんからいろいろな意見を頂戴したい。

3 報告事項・・・平成19年度地域づくり予算要求について担当課長が説明。

(質疑応答)

山中会長 委員より意見をいただきたい。

阿部委員 生涯スポーツ振興事業について、地区の体育振興会を設立した場合1地区あたり9万円の補助があると説明があった。この生涯スポーツ振興事業から補助金がいただけるという考え方で良いのか。

教育振興室長 組織ができれば9万円が補助されるが、今現在4地区の体育振興会が立ち上がるかは不確定である。酒田市巡回駅伝大会については今年度から合併記念事業として開催された。平成18年度については予算的な措置がなかったが、次年度は、タスキなどの諸経費については地域づくり予算で対応していきたい。

阿部委員 その諸経費分とは別に、体育振興会を立ち上げれば9万円の補助がでるのか。

教育振興室長 体育振興会については、駅伝大会だけに限らず地区の体育振興を目的としている。

阿部委員 生涯スポーツ振興事業費との絡みでその補助金がなくなるのでは困る。

山中会長 体育協会と体育振興会のあり方を整理していく必要があると考える。体育協会と体育振興会が同じような仕事を同時に進めるのでは運営しにくいのではないかと。体育協会に対し、市の体育振興会が助成をする形が良いのではないかと。

教育振興室長 体育振興会への9万円の補助については、どのような形態で支払われるのかなど市体育課と協議をしている。

山中会長 どちらか一方は整理されるのではないかと。

教育振興室長 予算の管理課が違う。

山中会長 松山体育協会への補助金は、酒田市から支払われているのか、それとも酒田市体育協会からなのか。

教育振興室長 酒田市から補助金が支払われている。

富樫委員 あいまいな話はしないでいただきたい。この間の話では、9万円の補助はあると聞いた。可能性でこの予算を組んだというのなら予算額は理解できるが、市としては体育振興会をつくらなくてもいいと考えているのか。

阿部委員 体育振興会については今後、コミュニティ振興会に組織されていくと考える。体育協会とは別個と思う。体育振興会で9万円の補助をもらったために生涯スポーツ振興事業費が減額されるのでは困る。

富樫委員 この報告事項という取り扱いはどうなのか。

地域振興課長 第3回の地域協議会で皆さんから意見をいただいた。その後、支所の課長会議等で協議し、まとめたものを今回提示した。これで予算要求したいがよろしいか皆さんにお計りしたいということである。

富樫委員 花の植栽についてだが、公共施設だけに限定せず事業を行っていただけないのか。前回の地域協議会でお話した自治会への花苗の植栽など、会議での内容を考えた上での内容になっているのか。

ホタルの里ウォッチングについて、「ホタルの里」という名称は確立できていないが、里づくりというハード面での整備はどう考えているのか。

地域振興課長 花いっぱい事業については、主として公共施設を対象に花を植栽していく考えである。道路の交通島においては、自治会と協力しておこなっている所もある。すべての自治会を対象としたものでは考えていない。建設課主管で同じような事業を行っているのでも説明する。

ホタルの里については環境保全等の観点から親子に関心を持ってもらえるように平成20年以降の整備に向けて準備を行っていききたい。

教育振興室長 教育振興室では、ホタルの里ウォッチングは自然とふれあう観察事業で、環境整備までは考えていない。

富樫委員 一つの考え方としてだが、環境整備をしていくことで事業が長続きするのではないのか。

阿部補佐 環境整備という点では、ホタルの餌となるカワニナ代を計上している。

支所長 それが「ホタルの里」づくりになるのではと考えている。

富樫委員 ホタルの里ウォッチングについては、ぜひ目的をもって進めていただきたい。

花いっぱい運動についてだが、公共施設への花の植栽については地域づくりとは思わない。地域づくりとは本来、地域住民をどう動かすのかということだと考える。例えば上限1万円で各自治会に花苗を与えるなど前向きな地域づくりをすべきである。建設課関係の事業は種からの植栽であり手間もかかるため、自治会によってはできるところとできないところがあると考ええる。

山中会長 この花いっぱい事業は、産業おこしの一環として産業課を主管に始まった事業と記憶している。住民ができるところは協力を得ながら事業を展開していくものとする。

地域振興課長 交通島部分については、7自治会に花苗を提供して事業を行っている場所もある。また、水かけなどの管理も行っていたい。

山中会長 それでは、機械的に植えているだけで、自分たちで植えた実感がないのではないか。

富樫委員 自由裁量の少ない事業ではないか。

山中会長 花いっぱい事業については検討し、今後の予算要求について考慮してもらいたい。

ホタルの里については、特定地域を指定し事業をすることはできないのか。山寺地区では子どもたちを中心に公民館主催で事業を行い大変好評であったと聞いている。参加者の安全面を考えれば、山寺多目的運動公園での実施がよいと考える。

地域振興課長 ホタルの里ウォッチングについては、いろいろな意見があったので、調査研究を含め内部で検討していく。

花いっぱい運動については、これから少し時間をいただき、平成19年度からとは言えないが、今後、自治会を巻き込んだ形での実施などを検討していく。

富樫委員 酒田松山会について、同じ酒田市になったにもかかわらず、行政が関わり酒田松山会をおこなうのはどうかと考える。

支所長 酒田松山会は独自で活動をおこなっており、総会にご招待があれば、行政として参加させていただいている。今の段階では、行政が関わりを切ることができない。

富樫委員 割り切るべきと考える。そのままでは何も変わらない。

#### 4 議長及び議事録署名委員選出

地域振興課長 会議の議長を協議会設置条例第6条第2項により会長にお願いする。なお、今回の議事録署名委員を今田委員にお願いする。

#### 5 意見交換・・・山中会長がこれより議長を務める。

##### (1) 歴史公園・保育所整備(統合)・眺海の森の整備について・・・事務局説明の後質疑

山中会長 松山の繁栄のためには夢の倶楽からの観光客が流れてくるような整備が必要である。

保育所移転統合になったあとの跡地利用は大きな問題と考えるので皆さんの意見をいただきたい。

山中会長 能振興会と茶道愛好会からどのような要望があったのか。

教育振興室長 能振興会と茶道愛好会からは、観覧席のある演能舞台の整備や待合室の完備などが要望されたが、総合すると多面的に活用できる施設の建設を望んでいるようである。

富樫委員 歴史公園の課題については、ハード面での整備ばかり出ているようだが、そのような議論ではないと思う。歴史公園のあり方についての議論ではないか。

寒河江委員 保育所は21年度で統合し、建物は新しく建てる考えなのか。

支所長 基本は3園統合で進んでいる。移転統合の場合は歴史公園の整備をどのように進めていくかが課題となるが、新たなにぎわいを求めて整備していく。

市民福祉課長 保育所統合は一番早く決定しなければならない事項である。当初予定では160名の園児を考えていたが、現在136名ということで現行の朝日園で保育できるとの考え方もある。ただ、乳児保育・一時保育などのニーズがあれば、現行の朝日園のスペースでは保育が

不可能なため改築が必要となる。

富樫委員 共働きが増える中で安心して子供を預けられるところが望まれる。認定こども園は自治体運営になるのか。料金設定は一律なのか。

市民福祉課長 認定こども園については、幼保一元化ではなく、幼保二元化である。首都圏で課題となっている待機児童解消や幼稚園の定員割れの解消を目指している。運営形態としては数パターンあり市としての判断によるところだが、認定こども園になったことで保育所が直営から外れるということにはならないと考える。

富樫委員 施設を作ることがまちづくりと考える。地域でもっともよい形を考えていくべきだ。料金設定が一定ということも聞いているので、入所させたくても費用面で入所させられない状況が発生するのは遺憾である。地域から考えると公共施設がなくなるということは、地域が衰退する可能性があるので統合には少し違和感がある。

休憩（ 11：10～11：20 ）

山中会長 再開する。何か意見はないか。

阿部委員 松嶺公民館で行事などがあり日曜日に開館していると観光客が問い合わせに訪れる。しかし、公民館にパンフレットなど何もない。日曜日に観光客に対応できる体制どのようにしていくのか。地域として観光に力を入れていく方向性なのであれば何等かの対策をとっていかねばいけいではないか。

今田委員 昨日、河北町に行ってきたが、道路の案内板がわかりやすく目的地まで迷わず行くことができた。

木村委員 この地区には観光案内ボランティアはいないのか。

山中会長 観光協会にボランティアの名簿などある。なかなか外には見えない。

山中会長 商工会青年部で数年前に「まちの案内所」の看板を作成したことがある。

産業課長 施設の案内板については担当レベルで協議している。観光ボランティアはPR不足であったと考えている。合併して観光案内図が全市的なものになったため市と協議し観光振興検討委員会でも話し合われた。観光案内所にいけばすべてがわかるといった対応を考えていく。

遠田委員 松嶺公民館に問い合わせがあるということは、ニーズが松嶺公民館にあると考える。無人観光案内所のようなものをつくってみてはどうか。

産業課長 新しい案内図をつくりいろいろな場所に配置することを検討している。

土田副会長 前回の会議で資料館は松山と酒田にあるが松山を本館にすることを齋藤尚委員がお話ししていたが、その様な考えはあるのか。

保育所の統合関係について、先ほどこどもが減少傾向にあるという説明があったが、こどもを増やす方法はないのか。子供が減っていくのを前提に進めていくのはどうかと思う。

教育振興室長 運営協議会において、課長の考えとして話が出ているだけである。あくまでも一つの案としてであり、まだ決定はしていない。

土田副会長 旧市内に大きい施設をすべて集中させるのはおかしい。市全体として整備を考えなければいけない。

菅原委員 生涯学習施設里仁館と関連した歴史公園整備を行うべきと考える。

山中会長 山田線の道路改良が完了すれば、眺海の森のカーブ是正の工事に入ると聞いている。そうなれば大型観光バス等の乗り入れも可能となる。徹底した観光、一点に着眼した観光をすべきである。

(2) 乳幼児健診事業と予防接種事業について・・・事務局説明の後質疑

市民福祉課長 乳幼児健診事業と予防接種事業について、平田地区と合同で平田タウンセンターを会場に実施することについて皆さんからのご意見を伺いたい。

今田委員 若い人の中では、それを当然と考える人がいると思う。通勤の流れなどを考えると平田地区に行くことは、距離的にも苦にならないと考える。

木村委員 川一つ隔てるだけで平田と松山は違うというイメージがある。酒田市になった以上一緒に考えるべきと思う。対象となる若い人に抵抗がなければその時代がきたと考える。平田地区で開催することについては賛成する。

山中会長 若いお母さんがそう思っているのであればいたしかたないが、これからの流れとして一つの砦が壊れるような気がする。なぜ、松山で開催することはできないのか。

市民福祉課長 平田地区の方が対象者が多いということも要因の一つである。また、健診時に対象となる保護者に聞いた結果、通勤圏などを考えての答えだとは思いますが、平田地区のお母さんの意識として松山にいても良いという方が1名だけだった。

土田副会長 原案に賛成である。健診等に参加する人数が多ければ多いほど人とのふれあいが多くなり、学ぶことも多くなると思う。

富樫委員 健康福祉センターの機能はどうなるのか。

市民福祉課長 今話していることは、あくまでも乳幼児健診事業と予防接種事業のみ平田地区において合同で開催したいという提案である。その他の健診事業等は今までどおり健康福祉センターを活用することになる。

山中会長 健康福祉係が健康福祉センターから総合支所庁舎へ移動すると聞いている。健康福祉係が移動した後の空きスペースはどのように考えているのか。

市民福祉課長 事務は総合支所庁舎で行うが会議や個別の相談等は健康福祉センターで行うことを考えている。

山中会長 乳幼児健診と予防接種を合同でおこなうということは保健師も当日は平田会場に出向くことになるのか。

市民福祉課長 そのように考えている。健診については保健師の数が4名になるため、健診の際の見落としなど防ぐことができるようになると思う。

支所長 健康福祉係、教育振興室を含め、事務室の配置はすべて総合支所庁舎におくことを検討している。

富樫委員 合併し、住民は不安を抱えている。数の論理で判断をされると反感が出てくると考える。この件については、もう少し早い段階から説明しておくべきだった。我々の意見がすべてではないが、少し唐突ではないか。子供を抱える親の意見も重要と考えるが合併により地域が弱体化するようでは、意味がない。

山中会長 乳幼児健診事業と予防接種事業の件については時期尚早と思う。

富樫委員 これまで保護者へ話はしてきたのか。

市民福祉課長 保健師をとおして話をしてきた。

市の方針として重要な決定事項であるため、地域の合意がなければ進めないと考えている。今後、地域協議会や保護者に相談しながら進めていく。

### (3) 市議会地域振興・農業政策促進特別委員会委員との意見交換会について

山中会長 来月10日に意見交換会があるが、万障繰り合わせの上参加していただきたい。

地域振興課長 その際には、地域振興についてのお話をしていただければありがたい。

### (4) その他(保育料と通園バスについて)

市民福祉課長 合併協議の中で保育料については5年を目途に旧酒田市に合わせるとしている。

旧松山町は旧酒田市の93%の水準にある。段階的に旧3町分を統一した料金にし、平成22年度から統一する考えである。

通園バスの運行については形態をすべて市の直接運行として明確化していく。料金については、平成20年に段階的に値上げをし、最終的に平成21年から統一した料金とする。

富樫委員 なぜ高い酒田市に合わせなければならないのか。

市民福祉課長 旧酒田市の場合、適正な負担となっていることからそこに合わせるのが適当と判断している。合併協議の中での決定事項となっている。

阿部委員 それで保護者が納得するのか。

支所長 保育料の算定の仕組みは非常に複雑である。高いところに合わせるのはいかがかとの意見はあると思うが、公費負担などの問題もある。次回資料を提示する。

今田委員 保育料の仕組みについて説明してもらいたい。

市民福祉課長 課税額に合わせた料金となる。

富樫委員 酒田市の基準に合わせていくといった言い方は納得がいかない。もっと根拠を示さなければ理解できない。

今田委員 6段階に分かれているのであれば安くなる場合もあるのか。

市民福祉課長 安くなる方もでてくるが、高くなる方もいる。

山中会長 時間もだいぶ経過した。これをもって第4回の地域協議会は閉会する。

## 7 閉会・・・進行の地域振興課長が閉会する。